

# にかほ

編集・発行 / 秋田県仁賀保町役場

4/1

No. 1399  
毎月1日・15日発行



## 今月の主な内容

特集 平成17年度予算 .....	2 ~ 5
町議会3月定例会 .....	6 ~ 7
まちの話題 / 町内小中校で卒業式 .....	10 ~ 11
五十嵐浩晃さんの笑顔に会いたい .....	12
姉妹都市町民訪問団員を募集 .....	14
暮らしの情報 .....	16 ~ 17

## 旅立ちの日に

3月11日、仁賀保中学校で卒業式が行われ、町立中学校として最後の卒業生となる第46期生129人が学び舎を巣立ちました。

教室で先生や級友と涙で別れを惜しんだ生徒たちは、目を真っ赤にし頬を紅潮させながら写真に収まっていました。



地方の時代をめざして——

# 安心とふれあいのまちづくり



平成十七年度各会計の当初予算が町議会三月定例会で可決されました。一般会計予算は、前年度比二・四パーセント減の総額四十八億五千三百万円で始動します。

税収が回復傾向にある一方で、国の構造改革路線による補助負担金や地方交付税の減額に加え、基金の減少等もあり、依然として厳しい財政状況が続いています。

町では、経常経費の節減と国・県の助成制度の利用を図り、財源の不足を地方債に依存しながら継続事業や新規事業を実施、住民福祉の向上を目指します。

## 一般会計予算の概要

### 歳入

町税は、固定資産税や町たばこ税が減少するものの、企業の業績回復による法人町民税の伸びが見込まれることから、前年度比十八・一％の増加となりました。

国が推進する、「三位一体の改革」の一環として、所得譲与税（国の税源移譲分）が昨年度に引き続き地方譲与税の中に盛り込まれ、前年度比三十三・三％増となっている一方で、地方交付税は八・七％の減額、国庫支出金や県支出金は合わせて十四・九％の減額となりました。

### 歳出

予算の性質別に歳出を見ると（3ページ左図）、人件費は前年度と比べて横ばい、物件費は経常経費の節減により四・四％減となりました。

介護保険事業が本荘由利広域市町村圏組合に統合され、関係経費を一般会計に措置したことから、補助費が前年度比十五・一％増加し、特別会計の廃止等により繰出

## 用語解説

### 地方交付税

町の税収状況、人口、面積、道路延長などに応じて国から配分され、用途が特定されていないお金（普通交付税）。災害や町の特別な事情により交付される特別交付税もある

### 町債

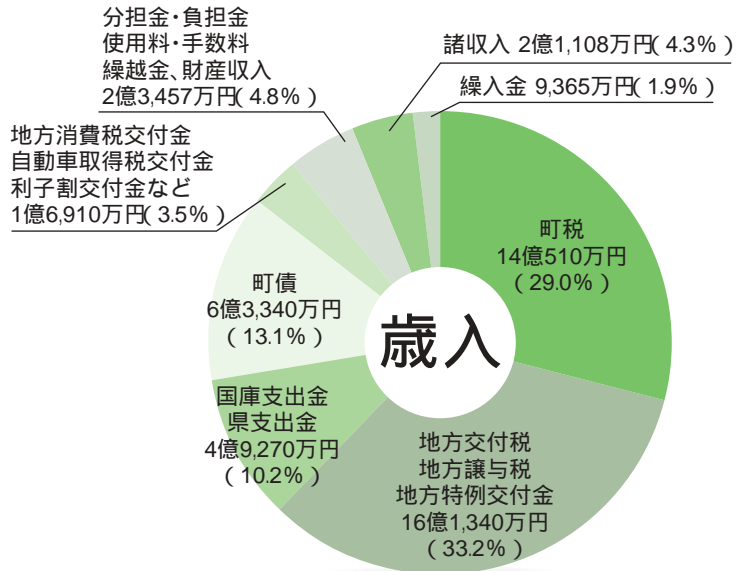
特定の事業を行うために国や銀行などの金融機関から借り入れるお金

### 繰入金

財政運営を円滑にするために、積み立てたお金（基金）を取り崩したものの

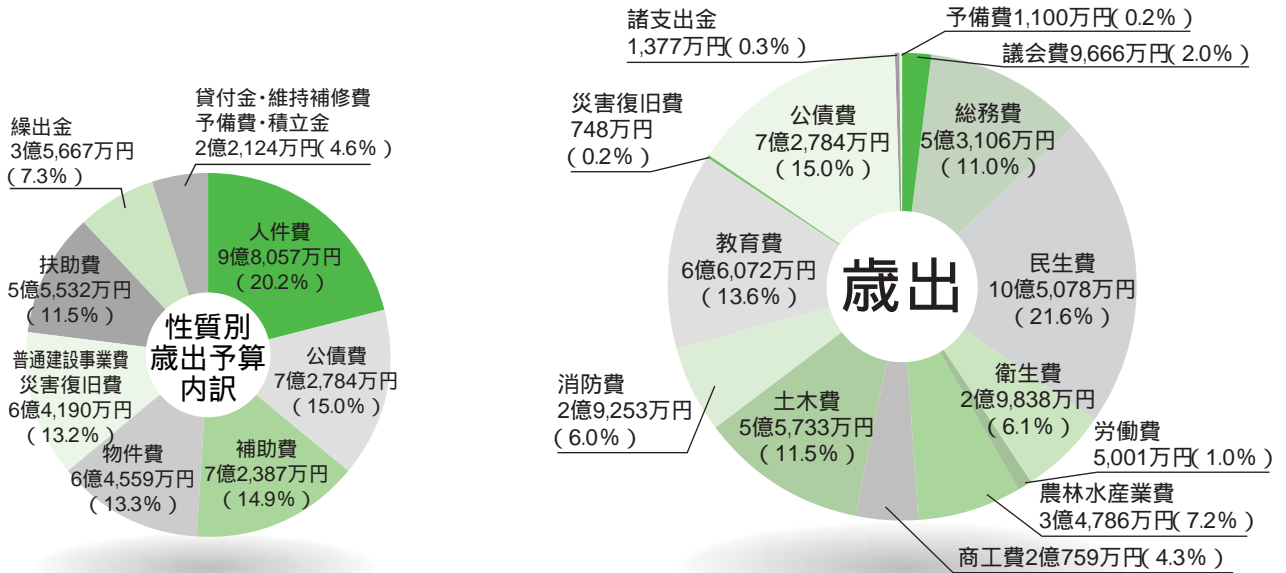
### 公債費

町の借金を返済する費用



## 平成17年度一般会計予算

# 48億5,300万円ですスタート!



**A** 町の平成十七年度予算は平成十七年四月一日から十八年三月三十一日まで  
の予算として編成されています。  
しかし、年度途中で合併を迎えるため、平成十七年九月三十日までに予算が執行されたものについて、仁賀保町の平成十七年度決算となり、原則として新市のかほ市の予算へと引き継がれることとなります。

**Q** 年度途中の今年十月一日に仁賀保町、金浦町、象潟町の三町が合併し、「かほ市」が誕生しますが、仁賀保町の平成十七年度予算や決算はどうなるのでしょうか？

**おしえて!**  
合併すると  
予算や決算は  
どうなるの？

金が二十・七%減となりました。  
普通建設事業費は前年度比二十  
六・三%の増加で、町道役場一・  
二号線の新設改良事業や、フェラ  
イト子ども科学館の整備などが主  
な事業です。

# おもな事業の概要



今年8月にミニ国体が開催される町民グラウンド

快適で安全な  
住みよいまちづくり

都市公園整備事業

事業費 一億三千六百万円

平成十九年秋田国体のサッカー競技会場として、引き続き運動公園を整備します。

今年度は、駐車場や公園内の夜間照明の整備、園路広場の舗装工などを行います。

道路新設改良事業

事業費一億五千三百二十一万円

## 主要建設事業と予算額

単位：円

補助事業	
田園空間整備事業	98万
松くい虫防除対策事業	1,300万
森林整備地域活動支援事業	575万
森林環境保全整備事業	127万
道路維持整備事業	700万
都市公園整備事業	13,600万
単独事業	
地域イントラネット基盤施設整備事業	451万
老人憩いの家改修事業	157万
街灯新設事業	39万
交通安全対策事業	150万
松くい虫防除対策事業	127万
林道開設事業	2,970万
森林環境保全整備事業	169万
町有林整備事業	1,699万
地域水産物供給基盤整備事業	1,700万
漁港高度利用促進事業	117万
高原施設整備事業	1,560万
寒沢川改修による橋梁架替事業	4,369万
道路維持整備事業	570万
道路新設改良事業	1億5,321万
排水及び下排水維持改良事業	198万
都市公園事業	3,565万
小学校整備事業	620万
中学校整備事業	1,024万
勤労青少年ホーム設備整備事業	1,220万
分館改修事業	57万
子ども科学館整備事業	5,000万
運動公園施設整備事業	2,752万
国体競技会場設備整備事業	1,544万
土地区画整理事業（償還分）	1,377万
その他	287万
災害復旧事業	
災害復旧事業	748万

昨年度、測量設計を実施した町道役場一・二号線については、今年度、国道七号線（役場前）の拡幅に合わせて、用地の取得と町道の取付工事を実施します。

また、町道釜ヶ台十号線（延長二百六十メートル）の整備にも着手、今年度は測量設計を行います。

寒沢川改修による橋梁架替事業  
町負担金 四千三百六十九万円

昨年度の河川改修工事に引き続き、今年度は城前橋と寒沢橋の架替工事を行います。今年度中の完成を予定しています。



国道の拡幅に合わせて町道の取付工事を実施（役場前）

豊かな自然と調和した  
環境のまちづくり

公共下水道整備事業

町負担金 七千九百九十一万円

平成二十二年完成を目指し、金浦・象潟町と三町で整備を進めている下水道事業。

今年度、町内では平沢字清水尻及び京田内、約六・四一ヘクタールの面整備等を予定しています。

## 特別会計

### 国民健康保険（保険関係）

9億6,540万円

（前年度比8,265万円・9.4%増）

保険給付費の増加を対前年度比13.1%と見込んでいます。

### 国民健康保険（診療所関係）

2億4,904万円

（前年度比8,366万円・50.6%増）

小出・院内各診療所の増改築費9,069万円を計上しています。

### 老人保健医療

12億1,866万円

（前年度比4,168万円・3.5%増）

被保険者が減少しましたが、医療費が増加しています。

### 農業集落排水

1億8,780万円

（前年度比1,719万円・8.4%減）

### 簡易水道

1,271万円

（前年度比9,261万円・87.9%減）

## 企業会計

### ガス事業

収益的収入 1億3,518万円

支出 1億4,400万円

資本的収入 1億3,310万円

支出 2億6,444万円

### 水道事業

収益的収入 2億3,054万円

支出 1億9,821万円

資本的収入 1億6,090万円

支出 3億2,784万円

地域の産業を生かした  
特色あるまちづくり

#### 林道開設事業

事業費 二千九百七十万円

引き続き林道太郎ヶ台線（小国～桂坂間、延長十一・五キロメートル）の整備を実施します。  
併せて町有林をはじめとする森林の整備等を行います。

#### 高原施設整備事業

事業費 一千五百六十万円

仁賀保高原ひばり荘の屋根の改修を実施します。



映像を一新するファンタジーシアター（フェライト子ども科学館）

自ら学ぶ  
学習と文化のまちづくり

#### フェライト子ども科学館整備事業

事業費 五千万円

十五年度の館内リニューアルに続き、今年度は「ファンタジーシアター」の機器と映像を更新します。

#### 運動公園施設整備事業

事業費 二千七百五十二万円

町民グラウンドのナイター施設の整備や町民体育館の外壁とトイレの改修を行います。

液化天然ガスサテライト基地建設事業

町負担金 四千九百万円

都市ガスの原料を液化天然ガスに切り替えるため、それを受け入れる三町合同のサテライト基地を金浦町黒川地内に建設します。

#### ガス熱量変更作業

事業費 一億一千八百万円

平成十八年度の変更調整作業に向けて、今年度も引き続き事前作業を行います。



# 町議会 3月定例会

## 五十嵐勝治氏(平沢)を助役に再任

3月8日、「平成17年第2回仁賀保町議会定例会」を招集。18日までの9日間の会期で審議が行われました。

今定例会では、寄付受納についての報告を行ったほか、人事案件や平成17年度一般会計予算など31件の議案がすべて原案どおり可決されました。



五十嵐勝治氏

三月三十一日で任期満了となる五十嵐勝治氏(平沢)を引き続き助役に選任することについて同意されました。

助役の選任について

議案第6号



斎藤育子氏

三月三十一日で任期満了となる斎藤育子氏(樋ノ口)を引き続き教育委員会委員に選任することについて同意されました。

仁賀保町教育委員会委員の任命について

議案第7号



斎藤和寛氏

三月三十一日で任期満了となる斎藤和寛氏(伊勢居地)を引き続き固定資産評価審査委員会委員に選任することについて同意されました。

仁賀保町固定資産評価審査委員会委員の選任について

議案第8号



### 行政報告

**今**冬は近年にない大雪となり、3月1日現在で除雪機械の出動日数は延べ541日(昨年比296日増) 稼働時間は2,764時間(同1,530時間増)を記録。除排雪に多忙を極めましたが、凍結防止散布車も早朝から稼働させ交通の確保に努めました。

**平**成17年度仁賀保町に示された米の生産目標数量は5,331トン(昨年比59トン増)で、面積に換算した水稻作付目標面積は940ヘクタール(同11ヘクタール増) 生産調整面積は378ヘクタールで、率にして昨年度より約1%緩和されています。

**都**市ガスの原料となる天然ガスの輸送用パイプラインが、日本海沿岸自動車道の建設着手に伴い移設が必要になることから、3町で対応を検討した結果、原料を液化天然ガスに切り替え、その受け入れのためのサテライト基地を平成17年度において金浦町黒川地内に建設することで合意しました。



最終日の本会議、起立採決の様子

議案第9号

仁賀保町法定外公共用財産管理條例の制定について

道路法や河川法などの適用を受けない道路や水路、ため池など法定外公共物一万四千三百八十七筆が国から町に譲与されたことから、その管理条例を定めたものです。

議案第10・11・13号

仁賀保町介護保険条例・介護保険介護給付費準備基金条例の廃止について/本荘由利広域市町村圏組合との間の介護保険者事務の委託に関する規約を定めることについて

三月二十二日からの本荘由利広域市町村圏組合介護保険事業への加入に伴い、町の関係条例を廃止すると共に、同組合との間に事務委託の規約を定めることについて議決されました。

議案第14号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

平成十七年度から二十一年度までの五か年計画で、釜ヶ台地区の通信鉄塔施設（携帯電話）の早期整備や、町道釜ヶ台十号線の拡幅改良舗装などについて盛り込んでいます。

議案第15・16号

仁賀保町道の路線の認定、種別の認定について

両前寺字谷地地内の一路線を新たに四級町道として認定しました。

議案第19～27号

平成十六年度仁賀保町一般会計、六特別会計、ガス・水道事業会計の予算補正について

一般会計では、既定の予算総額の歳入歳出それぞれ一億九百四十六万七千円を追加し、補正後の予算総額は五十三億九千九百九十五万七千円となりました。

また、各特別会計、企業会計では、主に計数の整理や事業内容の変更による予算補正を行いました。

議案第28～35号

平成十七年度仁賀保町一般会計、五特別会計、ガス・水道事業会計の予算補正について

（本紙二～五ページで紹介）

議案第36号

山崎科学教育振興基金条例の一部改正について

基金の額を二億円から一億五千万に改めました。

一般会計予算補正の主な内容

歳入

町税	5,769万円の増	13億5,006万円
●町民税6,019万円の増、町たばこ税220万円の減など		
地方譲与税	1,000万円の増	1億3,000万円
県支出金	1,457万円の減	2億6,649万円
●稲作ほ場管理対策補助金450万円の減ほか		
繰入金	5,785万円の増	3億4,367万円
●介護保険事業特別会計の廃止に伴う繰り入れ		
町債	1,860万円の減	6億4,910万円

歳出

民生費	5,863万円の増	10億9,190万円
●介護保険事業費（新設）5,859万円の増ほか		
農林水産業費	3,809万円の減	3億7,986万円
土木費	2,112万円の減	5億4,592万円
諸支出金	1億2,500万円の増	3億2,231万円